

平成22年12月27日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸太田市立佐竹小学校 担当教諭名 佐藤 貴久

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年 12月 14日 (火) 9:30 ~ 12:50
対象学年と人数	6年生 44人
派遣講師名と出身国	・アメリカ合衆国 ジェフリー・バーク ・フランス共和国 オレリー・ノエル
活動の内容	・ワークショップ 「地球家族」 ・アメリカ合衆国の話、講師の故郷の話 ・フランス共和国の話、講師の故郷の話
今回実施されたワールドキャラバンについて評価生徒・保護者等参加者の感想	事業に参加しての意見・感想 楽しく、有意義な時間をありがとうございました。児童にとって、外国の方と直接ふれあい、たくさんのお話を聞いた <input type="checkbox"/> 一緒に給食を食べたりできたことは、貴重な体験になったことと思います。世界には様々な環境で暮らす多くの人たちが <input type="checkbox"/> 、みなそれぞれに幸せの形を持っていることを知りました。便利なものにあふれる幸せ、笑顔につつまれた幸せ、家族と共にいる幸せなどと、いろいろな幸せがありました。日本に住む自分たちにとっては、厳しいと思える生活でも、価値観が変われば幸せになると知りました。「地球家族」では、日本では当たり前だと思っていることが、外国では当たり前でないこともあり、いろいろな価値観があることが分かりました。
先生の感想	本物の外国の方と話ができただけでなく、子どもたちにとって、最高の国際理解になったと思います。さらに、講師のオレリー・ノエルさんやジェフリー・バークさんは、自分の生まれた国について具体的な資料を提示して分かりやすく説明をしてくれました。母国で使っている紙幣に触れたり、漫画を見せてくれたり、外国を知るよい機会になったと思います。 ワークショップ 「地球家族」で「一番幸せな家族」に見える写真を選ぶ活動をとおして、子どもたちは、「何が幸せなんだろう」と自分達の生活と比べたり、ふり返ったりすることができました。「幸せな家族」の判断には、いろいろな基準があることを改めて知ることができました。 ワールドキャラバンは、異文化に触れるとてもいい機会となりました。2人の講師の方に感謝申し上げます。

